



今年ももうすぐ3月11日がやってくる。2011年の東日本大震災の発生から13回目の震災の日。東北の真宗大谷派の多くの寺院では、今年も3月11日に「勿忘の鐘」という法要が勤まる。「勿忘の鐘」は、大津波によって全壊となった陸前高田市本稱寺の梵鐘とともに、それぞれの場所ですら震災の日の同じ時刻(午後2時46分)に鐘をつき法要を勤めましょうという呼びかけである。本稱寺の佐々木隆道住職が被災後に語った「忘れないでください。それが被災地の一番の願いです」との声に呼応して2012年から始まった。勿忘の鐘をつく時に、私が今でも必ず思い出すことがある。

鼻の奥にまだ染みついているかのように鮮明に、よみがえる、被災地を覆いつくすような津波で打ち上げられた生き物の腐敗した臭い。「〇歳くらい、女児」などの特徴が書かれた紙が貼つてある銀色のビニール袋に納められた御遺体が数えきれないほど並ぶ遺体安置所の光景、そこで未だ見つからない家族を探し続ける人々の表情。そして、この先一体どうなっていくのだろうかという先の見えない不安に覆われた記憶、世間からどんどん自分たちが置いていかれていくような感覚。勿忘の鐘は、私にそういう震災の記憶を思い出させてくれる。思い出させてくれるということは、普段

はすっかり震災のことを忘れてしまう私にいつの間にかなってしまうたというところでもある。教区内では震災から10年を迎えるあたりから「いつまで復興活動や法要を続けるのか」「何をもうって復興というのか」という議論が起きるようになっていた。みんな通常の生活にはやく戻りたいのだ。そんな時、ある会議の場で「いまだに2523名の方が行方不明となっている。その行方不明になっている方のご家族は、今も復興なんて気持ちにはなれないし、一歩も前に進むことができない人だっている。現実的に考えればあり得ないことなのかもしれないが、行方不明者全員が見つかるまで我々僧侶が法要を勤め続けていくことにしないというのでは、誰一人置いてきぼりではないか」と仲間が話して

くれた時、私はハッと なった。震災当時、世間から置いていかれるような悲しみやさみしさを感じていたのに、いつの間にか私もまた誰かを置いてきぼりにしてきたことが露わになった瞬間だった。「忘れないでください」と訴えた本稱寺の佐々木住職の言葉があらためて胸に響く。今年も「阪神淡路大震災1・17のつどい」が神戸市中央区の東遊園地で開催されたというニュースを目にした。阪神淡路大震災からすでに29年もの時が経つけれど、「不安で先が見えなくとも、ともに歩もう」と呼びかけ続けてこられた神戸の方々の後ろ姿は、いつの間にか東北の私にも大きな勇気を与えてくれたことに気が付いた。

2024年1月1日、能登半島で大きな地震が発生した。「復興」という力のある言葉にみんなが向かっていくとする陰で、どうしても気持ちが追いつかずに置いていかれそうになる方もいらっしゃると思う。でも迎える3月11日には、誰ひとり置いてきぼりにならない「復興」を願って、岩手の地から勿忘の鐘をつこうと思う。

念じられ 照らされて 誰も置いてきぼりにならない復興

石田 悠晃



＜略歴＞
1977年、岩手県花巻市生まれ。圓徳寺住職。東日本大震災では炊き出しやお風呂などを提供。現在は東日本大震災復興チャリティーライブを全国で開催。

聖教学習会

日時 3月6日(水) 13時30分～16時
講師 名和 達宣氏 (教学研究所所員)
テーマ 是旃陀羅問題に学ぶ
会場 別院会館2階 研修室 参加費 500円

第42回 真宗公開講座 参加費500円

第5回 3月7日(木) 14時～
講師 市野 智行氏 (同朋大学准教授)
講題 往生をねがうしるし
第6回 4月3日(水) 15時～
講師 海 法龍氏 (東京教区長願寺住職)
講題 誰のためのお墓なのか

いずれも会場は別院御坊会館



＜現代の問題講座＞
フォトジャーナリスト
やすだ なつき
安田 菜津紀 講演会
日時 4月6日(土) 14時 (13時30分開場)
テーマ 紛争地、被災地に生きる人々の声
～取材から見てきたこと～
※パレスチナ取材報告含む
会場 高山別院 参加費 500円

※チケットのお求めは高山別院事務所、お手次のお寺、ブックスアイオーまで
※当日にチケットをお持ちでなくとも参加費500円でご入場いただけます

春の彼岸会・永代経法要

亡き方をご縁として仏法に出遇う大切な仏事です。ぜひお参りください。

3月17日(日)～23日(土)

13時から勤行・法話

- 17日(日) 夏野 了氏 (満成寺住職) 「明日をも知らないこの私」
- 18日(月) 窪田 純氏 (圓徳寺住職) 「届いてますか？ あなたの供養」
- 19日(火) 澤邊 恵秀氏 (誓願寺前住職) 「生死出ずべき道」
- 20日(水) 三島 多間 別院輪番 「東西南北の磁力」
- 21日(木) 小原 正憲氏 (専念寺住職) 「いのちの終活」
- 22日(金) 光本 智見氏 (南春寺住職) 「因縁果に踊らされて」
- 23日(土) 三島 見らん氏 (西念寺住職) 「地獄」

家族で語ろう

医療の現場で

「生きることを学ぶ」岸上 仁

苦悩の奥底にある問い(1)

―信頼が崩れるとき

認知症外来で、ご家族から、「昼になっても起きてこないんです、どうしたらいいんでしょうか」という相談がありました。どう思われますか？医学的には、認知症で前頭葉が萎縮し、意欲が低下しているなどと説明するかもしれませんが、

どうしたらいいかという前に、ご自身のお気持ちを聞きましょう。そして、今のお話を聞いていかなくてはかとたずねましたが、「わからん」「しらん」と言っただけで黙ってしまった。そこで私は少し二人にしてほしいとお願いしました。

すると次第にいろいろお話してくださいました。歩くのが好きだけれど、近所の河川敷は舗装されてしまつて歩きづらくなった。そんなお話から始まり、ゴルフが好きで、定年後は友人と楽しもうと思つていたのに、認知症で行けなくなり、友人とも疎遠になったこと、孫の面倒を見るのが生きがいだったのに、最近はどうも煙たがられていてということ、などなど。そんな自分が朝起きてみんなの前に出ていっても邪魔なだけだ、と。何かさみしい、むなし。そんな心境を語られたのです。「そのことを家族や友人にお話されませんか」と尋ねると「そんなことは格好悪くて言えない」ということでした。そういう疎外感、喪失感を一人で抱えておられたのです。

これまでこういうことが喜びだ、と何となく信じていたことが、どんどんわからなくなる。仕事や趣味、友人、家族……。それが喜びだったはずなのに、確かになくなつていく。そんな、確かな自分を何とかつかもうとする不安の中では、例えば家族がトイレを失敗しないようにと、よかれと思つて手伝つたことも、「自分ができるところまで奪っていくのか」と喪失感から声を荒らげることもあるかもしれません。あるいは「失敗を責められている、迷惑がられている」と疎外感から孤独に投げ込まれるかもしれません。

そんなふうに、「確かな自分」も「確かな居場所」もわからなくなる。そうすると、朝起きること何かもむなしということとは、同じ一人の人間としてわかるのではないのでしょうか。こういう課題は、いくら認知症を医学的に勉強しても見えてきません。つまり、「老病死」には、単に身体的なことだけではなく、これまで生きる意味だと信じてきたものが崩れるという苦しみがあるのです。それが実は「信仰」ということの一環根っこにある課題なのです。何のために生きるのか、確かな生きる意味、確かな喜び、確かな自分がわからなくなり、疑いの中に投げ出される。でも確かな私自身を生きたい。それはどんな人も願うことではないでしょうか。だから「さみしい」「むなし」という思いは、病気や性格のせいではなく、「人間だから」と受けとめるべきではないでしょうか。

お釈迦さまが出家された動機も、「老病死を見て諸行無常を知つた」ということなのです。四門出遊とよばれる物語として語られますが、「諸行無常」ということを、外のものを見てはかない、ととらえるだけでは課題がよく見えません。そのことをさらに患者さんの声を通して確かめたいと思います。

別院定例法座

午後1時から

3日 三日のご坊

3月 嘉念坊上人
御祥月法要

4月 講師 井野了慧氏
(教務支所書記)

講題「生」

4月3日はご法話の後、古林真実子先生による揮毫の演出があります。



28日 親鸞聖人ご命日法座

3月 講師 三島大遵氏
(真蓮寺住職)

講題「無量寿を生きる」

4月 講師 佐藤義晃氏
(了徳寺住職)

講題「心のバランス」

ひだご坊

一口法話



URL: <https://hidagobo.jp/sermon/>
3月1日から4月30日の期間は下記の方々の法話を随時掲載してまいります。

・岩佐 眞氏 (浄永寺住職) ・小倉 輝穂氏 (圓城寺住職)

・細川 隆一氏 (浄慶寺候補衆徒) ・石井 宗氏 (西教寺住職)

ご坊さま 初まいり式

～お釈迦さまと
子どもの誕生を
お祝いしよう～

日時 5月12日(日) 11時～11時45分
会場 高山別院本堂
募集対象 3歳以下のお子さま
参加費 3,000円
お申込みはこちら→



大谷婦人会 定例法座

3月11日(月)

講師 三島多聞 別院輪番

4月11日(木)

講師 三島多聞 別院輪番

いずれも午後1時から

予告 春のお彼岸に墓石展示会を開催します

納得価格でご奉仕します。ぜひご来店ください。詳しくは新聞折込チラシで！

お墓の新設 リフォーム クリーニング 墓じまい 各種石工事

石のことなら

ご相談・お見積り無料!!

株式会社 奥田石材 OKUDA

☎0577-33-9601 [本社] 高山市新宮町2498-1(新宮小学校前)

☎0577-32-1483 [展示場・工場] 高山市国府町上広瀬137-1

お仏壇



お念珠の修理も
承っております

仏壇工芸

ほりお

高山市三福寺町369-7
TEL0577-33-6686

春のお彼岸セール

念珠フェア 30%引き 開催中



ココから、
チラシを
ご覧いた
できます



保険タイム

〒506-0059
高山市下林町916-1
※ひだしん西高校前支店となり
TEL 0577-35-1005

お仏壇
仏事のお悩み

LINEで簡単
相談受付中



工匠館

桐生町2-105
0577-35-3038

4月6日高山別院での講演会チケットも販売中！
TEL0577-34-1766

ブックス・アイオー

安田菜津紀フェアやってます！

株式会社 洞口不動産

TEL/0577-5718227

高山市名田町3-866 営業時間 8時30分～18時

土地・売買・中古住宅・分譲住宅・賃貸

不動産買取もお任せください！

慈愛・共なる灯り

高山電気工事株式会社

自主出版

あなたを人生を一冊の本に
まとめませんか？

山都印刷株式会社

高山市西之一色町二丁目九〇一八
TEL0577-33-11495

久寿玉 KUSUDAMA

くすだま

平瀬酒造店

TEL 34-0010

あなたの本、作ります。

自分史作品集など

高山市桐生町7-150-3
有限会社 リプロ

TEL 0577-35-0350
E-mail: info@libro-ops.net

お墓の新設
お墓のズレ傾き
などキレイに
修復します。

雪や凍結などで、
お墓のズレ傾き
などキレイに
修復します。

高山墓石店

☎090-7677-4883

〒506-0814 高山市滝町1362
<https://www.takayamaboseki.com/>